

令和4年度

佐賀市地域づくり交流会

じぞくかのう
持続可能なまちづくり
あかみらい
～明るい未来へつなぐバトン～

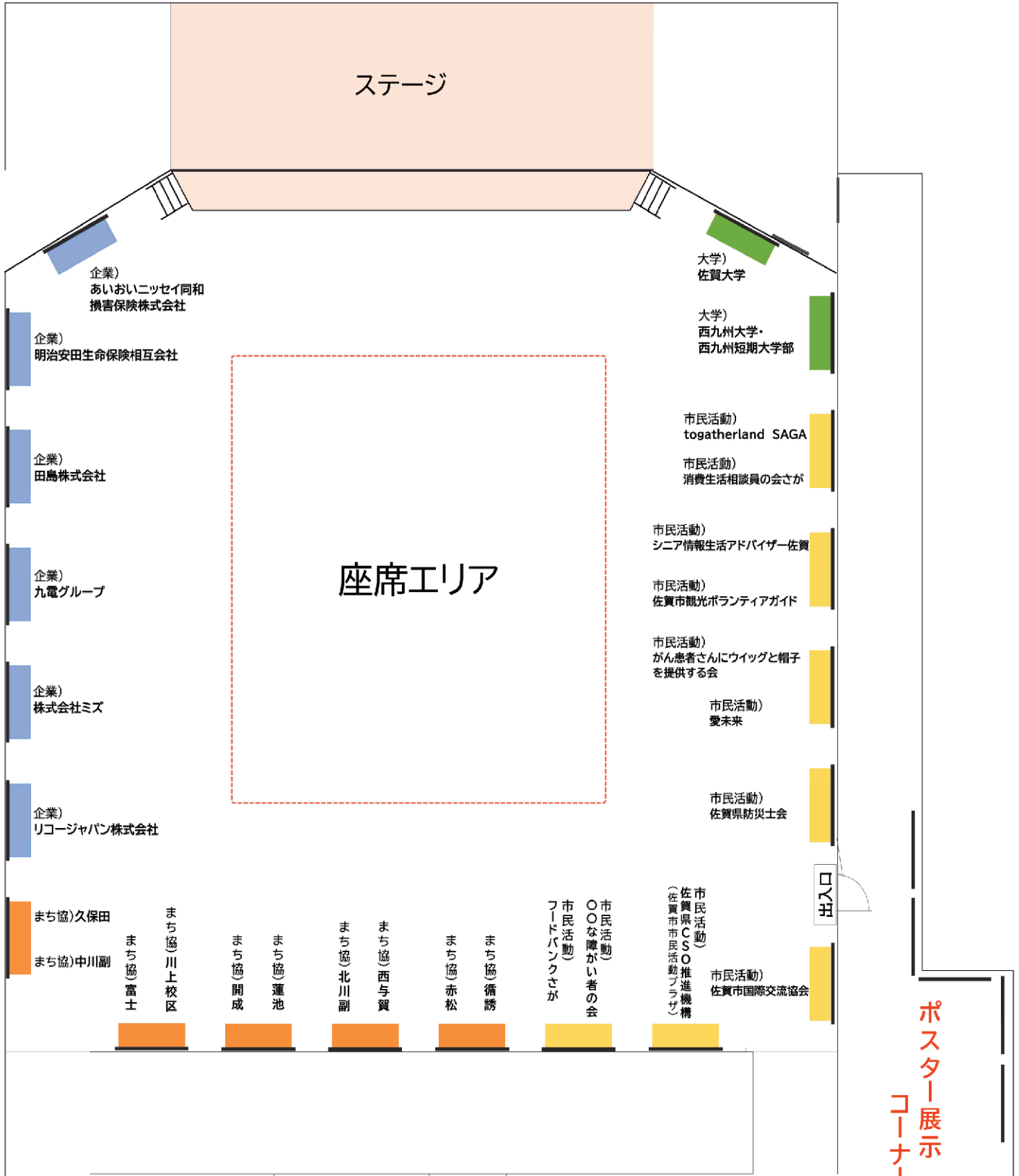


[期 日]令和5年1月28日(土)9:30~12:00

[会 場]メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)

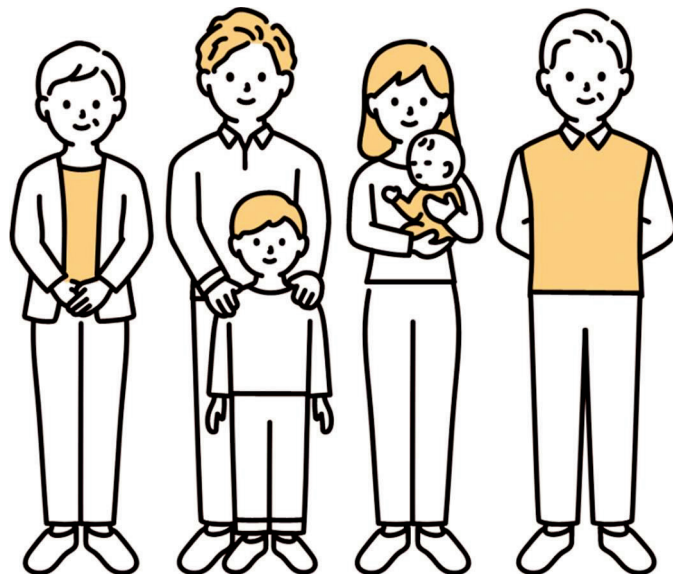


会場案内図



目 次

1 プログラム	1
2 進行役プロフィール.....	2
3 活動の紹介.....	6
まちづくり協議会.....	6
市民活動団体.....	38
企業.....	52
大学.....	60



プログラム

時間	内容
9:30	開会あいさつ
9:40 ~ 10:00	趣旨説明 オリエンテーション 進行:九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏
10:00 ~ 11:30	<p>さが・まちづくり広場</p> <p>参加団体の活動内容を紹介するブースやパネルを設置します。会場内を自由に見て歩き、ブースで話を聞くなど交流を行います。会場案内図は表紙裏をご参照ください。</p> <p>つながりたいむ</p> <p>さが・まちづくり広場と並行し、ブース出展団体(希望者)がステージ上で活動内容などをPRします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 <ul style="list-style-type: none"> ①田島株式会社 ②株式会社 MIZ ③明治安田生命保険相互会社 佐賀支社 大学 <ul style="list-style-type: none"> ④佐賀大学 ⑤西九州大学短期大学部 市民活動 <ul style="list-style-type: none"> ⑥佐賀県防災士会 ⑦NPO法人佐賀県CSO推進機構(佐賀市市民活動プラザ) ⑧NPO法人フードバンクさが ⑨〇〇な障がい者の会 まち協 <ul style="list-style-type: none"> ⑩赤松まちづくり協議会 ⑪川上校区まちづくり協議会 ⑫北川副まちづくり協議会 ⑬蓮池まちづくり協議会
11:30 ~ 12:00	振り返り・情報共有 成果や感想、今後の活用方法など
12:00	閉会

進行役プロフィール

加留部 貴行(かるべ たかゆき)氏



1967年生まれ。福岡県出身。1990年、九州大学法学部卒業。同年、西部ガス㈱入社。人事(採用、人事、給与、処遇制度)、営業(空調営業)、新規事業部門(指定管理者制度)に従事。学生時代からまちづくり活動に携わり、入社後も活動を継続。2001年には西部ガスより福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣。2007年からは九州大学へ出向し、大学改革プロジェクトを経て、ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発や学内外プロジェクトを担当。企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験している「ひとり産学官民連携」を活かした共働ファシリテーションを実践。2011年4月に独立。現在に至る。

主な役職

- 加留部貴行事務所AN-B-A-I 代表
- 株式会社トライログ 取締役
- 九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授
- 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー
- 総務省地域づくり人材の養成に関する調査研究会 委員
- 厚生労働省生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修事業研修企画委員
- 朝来市総合計画市民参画アドバイザー
- 早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会専門幹事
- 明治学院大学非常勤講師、東北公益文科大学非常勤講師、鹿児島大学非常勤講師、熊本大学非常勤講師

著書

- 『チーム・ビルディング -人と人を「つなぐ」技法』(共著・日本経済新聞出版社)
- 『教育研修ファシリテーター』(共著・日本経済新聞出版社)
- 『ビジュアル・ミーティング』(共訳・朝日新聞出版社)
- 『参加したくなる会議のつくり方』(ぎょうせい)

連載

- 『月刊ガバナンス』「ファシリテーション de コミュニケーション」(2015.04~2021.03)
- 『月刊福祉』「ホッとコミュニケーション」(2022.05~)

参加団体一覧

団体名	ページ	ブース	つながり たいむ
勸興まちづくり協議会	7		
循誘まちづくり協議会	8	○	
日新校区まちづくり協議会	9		
赤松まちづくり協議会	10	○	⑩
神野まちづくり協議会	11		
西与賀まちづくり協議会	12	○	
嘉瀬まちづくり協議会	13		
巨勢まちづくり協議会	14		
兵庫まちづくり協議会	15		
高木瀬まちづくり協議会	16		
北川副まちづくり協議会	17	○	⑫
本庄まちづくり協議会	18		
鍋島まちづくり協議会	19		
金立まちづくり協議会	20		
久保泉まちづくり協議会	21		
蓮池まちづくり協議会	22	○	⑬
新栄まちづくり協議会	23		
若楠まちづくり協議会	24		
開成まちづくり協議会	25	○	
諸富町まちづくり協議会	26		
春日まちづくり協議会	27		
春日北まちづくり協議会	28		
川上校区まちづくり協議会	29	○	⑪
松梅まちづくり協議会	30		
富士まちづくり協議会	31	○	
南川副まちづくり協議会	32		
西川副まちづくり協議会	33		
博愛の里中川副まちづくり協議会	34	○	
大詫間まちづくり協議会	35		
東与賀まちづくり協議会	36		
久保田まちづくり協議会	37	○	

参加団体一覧

団体名	ページ	ブース	つながり たいむ
NPO法人 愛未来	39	○	
NPO法人 おせっかい工房咲風里	40		
NPO法人 がん患者さんにウィッグと帽子を提供する会	41	○	
佐賀県防災士会	42	○	⑥
佐賀市観光ボランティアガイド	43	○	
佐賀市国際交流協会	44	○	
NPO法人 シニア情報生活アドバイザー佐賀	45	○	
NPO法人 消費生活相談員の会さが	46	○	
Togatherland SAGA	47	○	
NPO法人 フードバンクさが	48	○	⑧
〇〇な障がい者の会	49	○	⑨
NPO法人 佐賀県CSO推進機構(佐賀市市民活動プラザ)	50	○	⑦
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 佐賀支店	53	○	
九電グループ	54	○	
株式会社佐賀古湯キャンプ	55		
田島株式会社	56	○	①
株式会社ミズ	57	○	②
明治安田生命保険相互会社 佐賀支社	58	○	③
リコージャパン株式会社 佐賀支社	59	○	
佐賀女子短期大学	61		
佐賀大学	62	○	④
西九州短期大学部・西九州大学	63	○	⑤

※上記数字は
PRの順番

まち協
31団体

市民活動
12団体

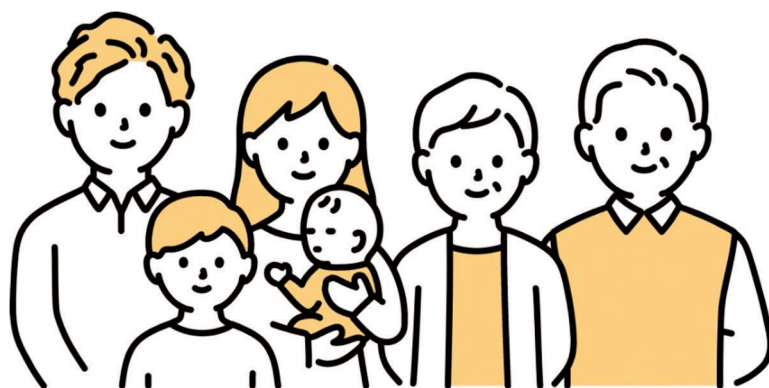
企業
7団体

大学
3団体

参加総数
53団体

活動の紹介

まちづくり協議会



《勸興まちづくり協議会》

団体や地域の自慢したいこと

本部事業 「勸興まちの駅」



ふれあい部会 「スポーツ大会」



すこやか部会 「あつまれ水曜」



まなざし部会 「居場所づくり」



まちなみ部会 「ふるさと勸興」



今後の展望や夢など

合言葉は「勸興皆一家」。勸興校区に集う人はみんな家族だよという合言葉の基、皆が集えるまちづくりを目指しています。ふれあい部会（校区スポーツ協会）でも、運動会の在り方を、競技・競争から「誰でも参加できる」レクリエーション方式を取り入れるなどの工夫をしています。また、本部事業の「まちの駅」においても、各種団体とのコラボレーションをはかり、幅広い年齢層の方々に参加してもらえそうな方法を模索しています。

今後の課題としては、次代を担う方々の発掘にあります。定年が延長されるなど現役世代の年齢が高齢化していくにつれて、まちづくりに参画してくれる方々の年齢も次第に高齢化してきています。勸興皆一家の合言葉のとおり、皆が集まってきてくれるまちを目指しています。

代表者	勸興まちづくり協議会	会長	小城原 直
連絡先	勸興公民館	佐賀市成章町1-8	0952-23-6303

循誘まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

循誘校区は、かつて佐嘉鍋島藩の城下町として栄えた歴史と伝統のある町です。当時、校区内には、武家屋敷は勿論、佐嘉鍋島藩唯一の船着き場があり、佐賀江川の水運を利用した材木業、大工、桧物屋、線香細工屋、染屋など多くの商店や蔵で賑わいました。当時から存在する屋敷跡としては、野中烏犀園、中島吉平商店、勝木慶造商店、武藤常市質屋などがあります。

他にもまだまだ多くの歴史遺産があり、例えば、柳町の旧長崎街道沿いには、佐賀市歴史民俗館のレンガづくりの洋館「旧古賀銀行」や、旧佐賀城下町に残された町家建築の中で最古とされる旧牛島家などの建物があります。このようなことから校区民の歴史に対する関心は高く、学習会や、歴史散策など、多くの活動が活発におこなわれています。

また、多くの人に関わり、地域のつながりを育むような行事も多くあり、文芸作品（俳句・川柳・一行詩）を募集・表彰し、「佐賀城下ひなまつり」会場である校区内に、短冊にした作品を展示する「春のじゅんゆう文芸賞」や、誰でも気軽に集える場である「カレーの日」などは、世代を超えて愛されている行事です。



野中烏犀園



旧長崎街道（柳町）



毎月10日の「カレーの日」みなさん、お待ちしております。春のじゅんゆう文芸賞



じゅんゆう文芸賞表彰式（歴史民俗館「旧古賀銀行」をバックに）

今後の展望や夢など

～ withコロナからafterコロナへ～

新型コロナウイルス感染症で私たちの生活様式も様変わりしました。“新たな当たり前”を認識し、afterコロナを見据え、人と人との関わり方・あり方や、地域のあり方を考慮・整理し、まちづくり協議会をさらに充実・発展していくことが大切と考えています。まずはまち協メンバーの思い・考えを聞きつつ、事業・行事の見直しを行い、新たな事業の立ち上げも必要と考えています。

まず、今年度は、“循誘ふれあいふるさと祭り”の実施方法を工夫し、10月29日に開催しました。



今年で9回目を迎えた“ふれあいふるさと祭り”。今年は3年ぶりの開催です。コロナのため、様々な事業・行事が中止となる中、まち協内からも「このままでは地域のつながりが…、人と人との絆が…」という危機感もあり、今年は、開催を前提に、6月から準備を進めてきました。今年のテーマは、“さあ集え！ 祭りだ！ 循誘だ！”。テーマの最初の“さあ集え！”に「地域の方に呼びかけ、人と人とのつながりのぬくもり・大切さ・地域の良さを見つめ直し、一緒に祭りを楽しみましょう！」という願いが込められています。

～“祭り”の主な改善点（対策）～

- 1 手指消毒、発熱者来場不可
- 2 密を防ぐため
 - (1) 受付を4カ所
 - (2) 来場者参加のイベントを芸人による歌謡ショーに変更
 - (3) 抽選方法の工夫
- ① 抽選場へ人が集中しないようパイロンの利用
- ② 4位以下は掲示板の利用
- ③ 景品の引き渡しを等賞別に機の準備など。



会長挨拶

ポスターコンクール表彰

業隠れ太鼓によるオープニングイベント

総踊り

芸人による“歌謡ショー”

代表者 循誘まちづくり協議会 会長 平川 哲男
 連絡先 循誘公民館 住所：佐賀市大財二丁目2-52 TEL/FAX：0952-23-3759

日新校区まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

私たち日新校区まちづくり協議会は「日に日に新しく」をモットーに校区民の交流と親睦を図っています。地域の方々が気軽に集う公民館では毎日たくさんの笑い声が響きわっており、賑やかなのが自慢です！

日新まちづくり協議会の活動を少しだけご紹介します！

【地域文化部会】

日新校区には精煉方や反射炉、長崎街道といった多くの誇るべき歴史を有しており、地域文化部会では歴史をテーマにした講演に積極的に取り組んでいます。また、ふじの花見茶会といって、日新小の小学生にお茶を振る舞う事業は大変好評を頂いております！

【安心安全部会】

安心安全部会では1年間を通して防災や救護の知識やスキルを学ぶ研修を行っています。また、本年度からは防災マップの完成に向けて公民館と市・県（アバンセ）との共同企画として4回の研修に取り組んでいます。



日新小名物の藤の花！この花を眺めながら頂くお茶は格別です。家では煎茶や抹茶を頂く機会の少ない子どもたちにとって、とても良い経験とご好評を頂いております！

今後の展望や夢など

ここ数年、日新校区では新型コロナウイルスの影響で多くの事業が中止になりました。なかでも日新校区を代表する「日新まつり」の開催中止は悲しくも寂しくもありました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、来年度こそは開催を出来るよう準備をしていきたいと思っております。

また、今後は「まちづくり協議会」として日新にとってのまちづくりとは何かという事を改めてメンバーで考え、議論をしていき、行事の開催だけに捉われないまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。



日新校区名物の日新まつりでの「カノン砲」大きな音と立ち込める白煙は一見の価値あります！来年度こそは、この迫力を校区民の方々に味わって頂きたいと願っております。

代表者

日新校区まちづくり協議会 会長 稲葉 嵩広

連絡先

日新公民館 住所：佐賀市長瀬町1番20号 電話：26-9216

赤松まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

私たち赤松まちづくり協議会は「思いやる心でつなぐふれあいのまち赤松」を目標に、地域の皆さんと共に語り、学びを行っています。同時に、地域の歴史と深くかかわりを持った活動をおこなっています。

代表的な活動として、(1)「佐賀城おほり灯ろうまつり」は、佐賀城のお堀に灯ろう1200個を浮かべました。地域、周囲の学校の子供たちや外国人ボランティアなど160名で楽しく行いました。(2)地域のまつりも「鯨の門まつり」とネーミングして、子供たちを中心としたイベントを開催し毎年2,000人の集客を見込んで開催しています。(3)地域の子ども食堂も行っています。「えがお食堂」として今では、地域から楽しみにされているイベントとなっています。私たちは、地域の方々と子供たちが輪になって、笑顔で過ごせるまちづくりを目指しています。

鯨の門まつり チャンバラ大会



今後の展望や夢など

地域のまちづくりとして、子ども達を支える保護者世代の地域住民が積極的に参加できるように、高齢者だけではなく子供を含めた、地域の住民参加型のイベントを行っていきたいと思います。赤松の豊かな歴史に恵まれた環境を最大限に利用したイベントを増やし、魅力あるイベントを成功させ、多くの人々が、この赤松を訪れることができるまちづくりを目指します。

まずは、地域みんなが赤松を大好きになることが大切です。そのために赤松まちづくり協議会は、地域の活動を支える中心的な組織として活動していきます。

代表者：赤松まちづくり協議会 会長 蘭 晴男

連絡先：赤松公民館 佐賀市中の館町4番10号 TEL:0952-23-6002

神野まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

この会は「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」を目標に掲げ、神野校区に住んでいる人たちがお互いに交流と親睦を図り、豊かで住みやすいまちづくりに取り組もうというものです。この目的を実現するために、

- ① 集い・交流の盛んなまちづくり部会
- ② 子育てしやすいまちづくり部会
- ③ ご近所で支えあうまちづくり部会
- ④ 次の担い手が多いまちづくり部会
- ⑤ 防犯・防災意識の高いまちづくり部会

の五つの専門部会を設けています。「神野は一つ」を合言葉に、神野公民館を拠点に自治会の垣根を越えて、神野小学校、成章中学校、PTA を含む地域で活動するすべての諸団体が緊密につながり、やがては個々の世帯同士のつながりとなり、日常生活で支えあう『ご近所づきあい』ができるようになるまで、この運動を推進していきたいと考えています。たくさんの方にこの運動に参加していただき、神野校区をみんなで支えあう幸せのまちにしたいと考えています。

【活動例】

脳トレ教室



基本的に毎週水曜日に開催しています。主に高齢の方を対象に、生き生きとした生活と仲間づくりに貢献しています。
(主催：ご近所で支えあうまちづくり部会)

カブト虫大会



例年小学生を対象に夏季休業中に開催しています。今年度はコロナの影響で相撲大会を省略しました。
(主催：子育てしやすいまちづくり部会)

今後の展望や夢など

「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」をより強固な『絆』創りのスローガンとして行くためには、思考停止は許されません。環境の変化をいち早く読み取り、先取りした団体として、常に前進して行きたいと思っています。いろいろな訓練・講座も大切ですが地域の人たちの強くて思いやりのある『絆』が重要です。

そのために今後とも毎月の役員会を開催し、連絡と共に新しい環境下で実施できる活動に取り組んでいきたいと考えています。みんなで取り組み頑張りましょう。

代表者

神野まちづくり協議会 会長 馬場 久雄

連絡先

神野公民館 住所：佐賀市神野西一丁目4番7号 電話：30-6702

西与賀まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

コロナ禍の状況であっても、協議会としてはできる活動を行っていく決意を強く持って活動を行ってきました。

1. にしよか夏祭り

第7波の拡大では、町民が一堂に集まることはかなわず、8月20日に「打上げ花火」の実施となりました。運動場には350人程の参加がありました。

2. 西与賀郷土かるた「まち探検」

学校と地域と一緒に活動しました。令和2年度作成した「西与賀郷土かるた」を題材に西与賀小の3年生が11グループに分かれ西与賀全域の史跡や水害対策施設等を見て回りました。

3. にしよか文化祭

何とかできる方向を探り、密にならない方法として会場を西与賀小学校体育館と西与賀公民館の2つにして実施しました。従来舞台での発表はすべてDVDによる上映にし、作品展示も小学校と公民館に分けて、文化祭の期間を5日間として行いました。公民館には延べ852人の来館がありました。

4. 各部会での活動、

- ・ふれあい文化部会 10月・1月に「ぶらあるき」、9月より「郷土かるた」まち探検
- ・のびのび子育て部会 公民館との連携によるキッズクラブ活動 さつまいも栽培
- ・すこやか福祉部会 元気アップ教室など



西与賀郷土かるた「まち探検」



にしよか文化祭



キッズクラブ「ロープライト作成」

今後の展望や夢など

西与賀まちづくり協議会では、「できる活動」を地域と共に「笑顔でつながる元気なまち西与賀」を目指して活動をおこないます。「西与賀郷土かるた」は自分のまちを知る素晴らしいツールです。それをベースに実施している「まち探検」を継続し、温かみのある西与賀町を作っていきたいと思えます。



西与賀町のマスケット
「にっしー♡」です！

代表者

西与賀まちづくり協議会 会長 嘉村 芳則

連絡先

西与賀公民館 住所：佐賀市西与賀町大字厘外1405番地 電話：23-4683

嘉瀬まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと



嘉瀬校区では、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という住民が主役の地域づくりを目標に掲げ、「安心して住むことのできるまちづくり」に取り組んでいます。コロナ禍の中、5部会は取組みを工夫しながら行っています。本年度、自主防災訓練、嘉瀬かかしまつりは3年ぶりに規模を考慮して、実施を致しました。



今後の展望や夢など

嘉瀬まちづくり協議会が立ち上がって11年。コロナ禍の影響で、取り組み内容に制限があり、各団体との関係が少し希薄になりつつありますが、嘉瀬町の強み（人と人との繋がり）を生かし、時代に沿った取り組みを進め、「安心して住むことができる、元気なまちづくり」を進めていきたいと思えます。少子高齢者、健康寿命、自然災害、デジタル化社会、交通網、関係人口などのキーワードにアンテナを高くして取り組みます。

代表者

嘉瀬まちづくり協議会 会長 川原田 裕明

連絡先

嘉瀬公民館 住所：佐賀市嘉瀬町大字中原 1690 番地 電話：26-5208



～ 巨勢ならではの ～



歴史・文化継承

巨勢の史跡

コセべんりカー
2台目運行 !!




通院や買物等の移動が困難な巨勢町在住の方の移動支援事業。令和2年10月のスタート時、34名だった利用者は今や、約120名になりました。今後も、皆さまの思いにお応えし運行してまいります。

巨勢町全体に神社、仏閣、史跡が点在しています。史跡等26か所を掲載した巨勢歴史マップ、案内板、史跡データベースを整備しました。巨勢の豊かな歴史や文化を後世へ継承してまいります。



QRコード付案内板




移動支援

～ 展 望 ～


コロナ禍が続き、夏祭り、町民スポーツ大会、ラジオ体操会等多くのイベントが開催できず、次世代へのノウハウ継承もできずにいます。巨勢に新たにお住いになる人、若い人、子どもさんも地域に溶け込みにくくなります。今の環境での活動を創意工夫し、巨勢の皆さまが楽しく参加できる事業を展開して、住み良い巨勢をめざしていきましょう。



巨勢公園ラジオ体操会(平成22年スタート)

代表者 **巨勢まちづくり協議会** 会長 石井 孝嗣

連絡先 巨勢公民館 住所：佐賀市巨勢町大字高尾104番地17 電話：26-9218



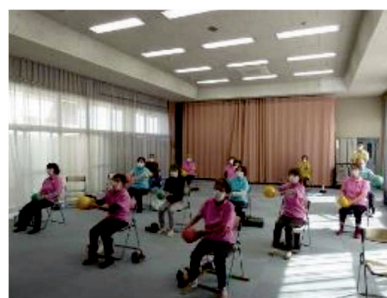
兵庫まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

ここ3年コロナ禍でまちづくり協議会主催行事も何度となく「中止」を余儀なくされた。夏の「兵庫の里祭り」は普段は、踊り、子ども会によるゲーム、和太鼓の演奏、模擬店の出店など、兵庫町の一大イベントであった。昨年度も今年度もコロナの影響で中止を考えたが、会議で協議に協議を重ね、「できることはやろう」で「打ち上げ花火」は実施することができた。グラウンドのフェンス外の子どもたち（もちろんマスク着用）の打ち上げのたびに上がる感嘆の声に、花火だけでも開催してよかった。

また「めばえ部会」は、ハロウィンのイベントもコロナ禍のなか、ウェブ配信の形式をとった。

また、「兵庫町民文化祭」はここ2年間作品展示のみとしていたが、今年度は動画で「YouTube」、画像は「つながる兵庫」への掲載と、「オンラインプラス」にも挑戦している。



今後の展望や夢など

- ・人材(財)発掘、確保

まちづくり協議会の役員については、規約では構成員の中からとなっている。まちづくりの活動に参加したいと思っている人が参加の意思表示ができるようにすることが必要であると思う。

また、新しい活動のアイデアの提案について、町の皆さんにアンケートを取り、広く意見を聞くようにしたい。

「兵庫町」の名前の由来は、佐賀郡長であった武富時敏が成富兵庫茂安の遺徳を後世に伝えようと名付けられたものである。

ひょうたん島に茂安侯の石碑があるので、何らかのイベントが企画できるのではと考えている。

代表者

兵庫まちづくり協議会 会長 徳島 秀文

連絡先

兵庫公民館 住所：佐賀市兵庫町大字淵 1295 番地 電話：23-3566

「つながる兵庫」はこちらからもどうぞ ⇒



高木瀬まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

広報力を向上 媒体誌を通じて町民の交流高まる

活動報告に限らず、構成員を高木瀬町民全員また協力団体活動に焦点にあわせた紙面づくりをしたことで、まちづくり協議会の知名度向上、広報誌を通して町民同士の交流がはかれるようになった。新規活動のPRチラシ作成し周知を図った。



左 女性消防団募集 PR 紙
右 高木瀬の人を紹介

子ども見守り部会 ながら見守り活動 住民参加型活動に200名が賛同

令和4年11月に出発式を高木瀬小学校で行った。隊員70名・1年生130名(他学年は翌日ビデオ視聴)来賓佐賀市教育長・佐賀北警察署日の出交番署長。見守り君や佐賀バルナースバルタン君も参加。ニュースリリースも実施し佐賀新聞に掲載。



左 参加者募集チラシ
右 令和4年11月7日出発式

高齢者見守り部会 認知症理解者 キッズサポーター新規 140 名

おたっしや本舗協力により実施、積極的な呼びかけで年々増加。町全体の認知症への理解の底上げがはかることが出来ている。



令和4年12月5日 キッズサポーター養成講座

防災部会 組織体制構築を図る 住民同士が手を取り合う 優しい防災の街

緊急連絡網作成・消防団員補充促進・女性消防団加入の組織体制構築を図っている。防災・減災に対する啓蒙活動を地元消防団と自治会と一体となり取り組んでいる。県・市自治体、各議員と住民とのパイプ役をまちづくり協議会防災部会が担っており、積極的な活動に期待をもちられている。部会員も役割を認識している為、活発で建設的な会議がなされている。

今後の展望や夢など

子ども見守り部会は「ながら見守り活動」が5カ年計画の3年目。組織拡大を加速させたい。高齢者見守り部会は、結果に左右されず継続し、高齢者に優しいまちとしての層を作り上げていく。防災部会は、課題と新規事業を織り交ぜて防災・減災体制を強化していく。

代表者

高木瀬まちづくり協議会 会長 阿間見 健

連絡先

高木瀬公民館 住所:佐賀市高木瀬東五丁目1番12号 電話:0952-31-3400

北川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

☆コロナ禍でも、それぞれの部会が工夫して活動を行っている。



○ふれあいまつり（校区3大まつり）

冬まつりの実施に向け奮闘中（桜まつり、夏まつりは中止）、

北川副の桜を見てほしい！ 徐福サイクルロードさくら並木のPV作成

YouTubeをぜひご覧ください

URL：<https://youtu.be/c1EWhgh2-SM>



○町区対抗グラウンドゴルフ大会

中止となった校区民スポーツ大会の代替案

として本年度、新たに立ち上がった行事 参加34チーム 校区民170名



○「どけいくかた！」ネットワーク

（徘徊高齢者事前登録制度）：サポーター研修（声かけ訓練）
このまちで安心して暮らしたいと願う住民の思いに応え
認知症で困っている人への声掛けを訓練しました。

○自主防災：年三回の防災研修、毎月の機器点検、避難所開設運営を訓練

○「北川副校区こどもの安全・防災マップ」作成

町区懇談会で地域での危険か所、通学路点検を行い、マップを作成



○北川副おかえりなさい運動

地域住民ぐるみで子どもたちの登下校をながら見守りします

○戦中・終戦直後の暮らしを子供たちに語り継ぐ座談会

じいちゃんばあちゃんの子供のころ（紙芝居、DVD）

平和の尊さや人への思いやりを次の世代につなげる活動



今後の展望や夢など

☆新しい夢プラン

北川副校区夢プラン（平成25年）を改訂作業中にコロナ禍へ

「ひとが輝き まちが輝く 北川副」は活かし、「このまちに住んで良かった」と肌で感じていただけのようなまちづくりができたらと考えています。

ふれあい部会	支えあい部会	助け合い部会	心を育む部会	守り伝える部会
祭りのまちづくり	福祉のまちづくり	防災・防犯で安全なまちづくり	まなざしのまちづくり	環境・文化のまちづくり

代表者

北川副まちづくり協議会 会長 福田 忠利

連絡先

北川副公民館 住所：佐賀市木原三丁目12番8号 電話：23-3086